

# 平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

## 1 施設名

日限山地域ケアプラザ

## 2 事業計画

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

◎ひぎり地区は、3,723世帯、8,888名(28.3.31)が居住し、高齢化率32.9%でした。4丁目は高齢化率43%を超えますが一人暮らし高齢者77世帯、比較して1丁目は高齢化率25.8%ですが一人暮らし高齢者122世帯と突出しています(2010.10国勢調査)。

・街並みは80坪台の戸建てが多く居住50年程度の地区です。表面化しにくいが無職で40～50代の子供と暮らしている家庭が目立ちます。

・地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会等は複数年間同じ活動者が役割を果たし地域を支えています。

・福祉や防災については独自の工夫と組織を立上げ各自治会館、日限山小学校コミュニティーハウス、地域ケアプラザを利用した高齢者・子育て・障害児向けの活動にも積極的です。

・連合自治会、単位自治会は会長を除き、毎年役員交代が行われますが団結心は強いです。防災訓練等に関しては自治会担当が小学校拠点と中学校拠点で分かれ行われています。

・NPO法人総ぐるみ福祉の会、区民活動支援センターランチ「さわやか港南」も地域を支える一端を担っています。

◎丸山台地区は、3,147世帯、7,136名(28.3.31)が居住し、高齢化率24.0%です。3丁目は高齢化率が34.0%に対し、一人暮らし高齢者は2丁目が77世帯と一番多いです(2010.10国勢調査)。

・中心に市営地下鉄駅と商店街を持っています。夏祭りではサッカー、野球等のクラブチームが模擬店を開催し、商店会が歩行者天国を開催するなど、高齢者から子供まで地域行事に参加する活発な地域です。

・自治会館を二館所有しサロン等活動も3か所で行われています。現在その一号会館が建て替え工事を行っています。

・駅前マンションでは震災以降、サロンを立ち上げ、多い時には月3度開催しています。また終の棲家となる様、管理組合と話し合いを重ねています。

・両地区とも新しい担い手が見つからない課題があります。

### (1) 総合相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・ 立ち上げた事業の内容・運営方法・参加者の見直しと発展を図ります。
  - ①ふらり～カフェ（認知症、子育て親子、障がい者、高齢者誰もが参加できるカフェ）
  - ②あい碁で将（地域の居場所）
  - ③極みの会（男性自主グループ活動）
  - ④認知症家族のつどい
- ・ ひざり地区第三期地域福祉保健計画を推進します。  
ケアプラザが事務局となり、各部会から出た課題・特徴・ニーズを把握・分析し地域に発信します。  
地域で解決できるようインフォーマルサービスの実施、事業展開がされる仕掛け作りを担います。
- ・ 高齢者・障害・子ども等幅広い分野の相談に情報提供できるよう各種ガイドブックを整備し対応します。
- ・ 地域活動及びケアプラザ貸館団体情報誌「参加しませんか」を更新し、最新のインフォーマルサービスの収集と情報を発信します。
- ・ ケアプラザが相談場所であること周知するため、外掲示板の活用、サロン、地域の各種会議への参加、行事、商店会等に積極的に出向きPRします。
- ・ 建物に季節行事に合わせた装飾、使いやすい図書コーナー情報ラウンジなど来館しやすい雰囲気作りに努め、世代を問わず相談できる環境を整備します。
- ・ 来館者と随時の挨拶及び貸館点検等でコミュニケーションを図り、ウォーキングポイント等での来館者にPRし相談に応じるきっかけを作ります。
- ・ 地域包括支援センター（以後、包括に略）が受けた高齢者相談は相談票を作成し、包括コーディネーターで回覧し地域課題を把握します。
- ・ 包括が高齢者相談から把握した障がいや子育ての支援が必要な方は速やかに関係機関と連携します。
- ・ 相談の傾向は統計システムを使い把握やニーズ分析を継続します。

### (2) 各事業の連携

- ・ 貸館利用者からの相談・地域の困りごとなどの情報は地域活動交流と包括が情報共有し各部門の専門性を活かした支援策を検討します。
- ・ 包括が受けた高齢者相談は相談票を作成し、両部門で回覧し地域課題を把握します。
- ・ 両部門で共有した事柄やノウハウを、月1回所内会議で情報共有し、個々の専門分野で活用し地域や事業検討を実施します。日常的な情報共有は随時小会議を開催します。
- ・ 地域サロンへ両部門が輪番で参加し課題の抽出及び支援を実施します。
- ・ 両部門で、障がい児余暇活動支援事業「ドルフィン」や「ケアプラザフェスティバル」「ふらり～カフェ」等協力して取り組みます。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・ 職員一人一人の資質向上に向け、内外を問わず、研修に参加し、参加者からフィードバック研修を受け職員全体で共有します。
- ・ 適宜、職場内で情報共有し課題について議論を行い、職員間の連携を強化します。
- ・ 防災訓練等の際に、特別避難場所マニュアルを確認し、職員の役割を職員間で共有します。
- ・ ケアプラザ利用者、相談者の最善の利益を図り、公平中立な事業運営を行います。

#### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ ひぎり連合自治会、日限山自治会、港南プラザ自治会、西洗自治会、ひぎり地区社協理事會、ひぎり民生児童委員会、ひぎりネットワーク会議等の定例会に出席します。
- ・ ひぎり福祉保健計画地域づくりフォーラムに参加します。
- ・ ひぎり地区福祉保健計画 5 部門部会の事務局として運営を支えます。
- ・ 永野地区民生児童委員会、丸山台自治会定例会、永野地区くじら計画推進会議等に出席します。
- ・ 永野地区全体会議（第 3 期くじら計画）に参加します。
- ・ 各エリアの支援チーム会議へ参加します。
- ・ 見守りパトロール「日限山歩こうクラブ」等の地域団体とケアプラザの防犯活動等についての連携、協力をします。

#### (5) 区行政との協働

- ・ 個別相談業務として区の高齢障害支援課と包括職員で毎月、カンファレンスを実施し、情報共有、検討、役割分担を図ります。内容に応じて介護保険サービス事業者、民生委員等地域関係者を招き、課題解決に向けた討議を図ります。また区の高齢障害支援担当とは、必要に応じ電話で情報共有し、同行訪問等を行います。
- ・ 地域づくりの第 3 期ひぎり地区地域福祉保健計画を推進するため支援チーム会議を執行の実行実現に向けて港南区役所の福祉保健課から高齢障害支援課まで横の繋がりを持って連携協力体制を構築します。今後も目的役割を共有しながら区行政と協働を積極的に行います。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

- ・ケアプラザフェスティバルを地区社会福祉協議会と協働しボランティアを募集し開催します。
- ・障がい児の余暇支援としてドルフィンを開催します。
- ・小中学生を対象とした居場所作り「宿題ルーム」を開催します。
- ・高齢者及び子どもの居場所作りとして、生活支援コーディネーターと共催で囲碁将棋サロン「あい碁で将」を昨年度に引き続き開催します。
- ・高齢、子ども、障がいの隔てを超えた居場所作りとして「ふらり～カフェ」を包括と共催で昨年度に引き続き開催します。
- ・女性をターゲットとし、夜間の部屋の稼働率を上げるため「女性のよるヨガ」の開催をします。
- ・定年退職後の男性を対象とした講座を開催します。
- ・子育て世代の父親対象とした「PapaGo スクール」の開催をします。
- ・包括と共同で認知症サポーター養成講座を開催します。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・「ふらり～カフェ」のイベント枠での発表の場の継続をします。
- ・ケアプラザフェスティバルでの展示やステージでの発表をします。
- ・廊下ギャラリーでの展示は、声掛けを行い参加を呼びかけます。
- ・施設内掲示板及びバス停前の立地を利用し掲示板での情報提供を行います。
- ・バス通り沿いのため2階ベランダでの看板などポスターを掲示しイベント開催の告知を行います。
- ・タネットでケアプラザの部屋や貸し出し備品、事業などを公開し情報提供を行います。
- ・貸館空き状況リストを定期的に更新し活用を促します。
- ・「女性のよるヨガ」を継続開催し、自主化に向けて働きかけ、併せて夜間の稼働の確保を目指します。
- ・調理室を使用した事業を開催し、調理室の利用を促します。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ボランティア養成講座の開催をします。
- ・よこはまシニアボランティアポイント登録研修会の開催をします。
- ・自主事業でのボランティア募集を行い活動のきっかけ作りを促します。
- ・地区社会福祉協議会のネットワーク会議へ参加し情報収集及び提供をします。
- ・近隣施設へのボランティアコーディネートをしす。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ひざり地区地域活動情報誌「参加しませんか」の更新を行います。
- ・広報こうなんやタウンニュースなどの広報誌にケアプラザの情報掲載を行います。
- ・ひざり地区社協の広報誌（ひざり地区全戸配布）と連携し、掲載を行います。
- ・施設マニュアル（利用方法やケアプラザの設置意義等）を利用者向けへ作成し、施設利用の情報提供をします。
- ・福祉保健活動団体向けの交流会を行います。
- ・単位自治会の定例会へ参加し情報収集をします。
- ・地域サロンへ輪番で参加し、地域の情報収集をします。
- ・地区内の小中学校へ定期的に伺い、情報収集をします。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- ・ケアプラザ会議を通して、所長、包括3職種、地域交流コーディネーター、居宅介護支援と連携、補完しあいながら、地域ケアプラザ全体で事業実施を推進していきます。
- ・生活支援コーディネーター連絡会に参加し、区役所、1層（区社会福祉協議会）、2層（ケアプラザ）と情報を共有し事業実現へと取組みます。
- ・情報共有から見えてきた課題に対し、具体的な取り組み事項を設定し推進してします。
- ・地域包括ケアシステム構築に向けて協議体を開催します。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・地域情報誌「参加しませんか」の更新を行い、拠点外で把握できなかった活動については掘り起こし、新たに情報を追加更新してします。
- ・地域の事業所で提供されている生活支援サービスの情報をまとめ、リスト化していきます。
- ・整理・リスト化した地域活動・生活支援サービスの情報をケアプラザ内で共有し、他職種も活用できるようにします。
- ・包括の総合相談票から地域の課題や個別ニーズの把握・分析を行い、不足している活動やサービスについては、協議体で話し合いを持つようにします。
- ・地域ニーズをつかんではじめた囲碁将棋サロン「あい碁で将」の事業を通して、新たな担い手を発掘します。

#### (3) 連携・協議の場

- ・ひざり地区は地域福祉保健計画を①健康づくり部会、②障がい部会、③高齢者部会、④こども青少年部会、⑤活性部会の「ひざりの福祉保健活動五部会」に分け毎月会議を行っています。担当職員を配置し事務局として行動実施の支援を継続します。また五部会の正副部会長会の運営推進を行い協議体及び地域包括ケアシステムについて啓蒙します。
- ・ひざり地区の「明日を考える会」（10年後のひざり地区の為に住民主体で行われている集まり）に対しても協議体及び地域包括ケアシステムについて啓蒙します。
- ・各地区の単位自治会定例会へ参加を継続し、必要な活動・支援について把握して行きます。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・生活支援コーディネーター連絡会への参加に加え、他地域ケアプラザで行われる協議体などには積極的に参加し、担当地域のみならず広域の地域課題についても把握します。
- ・各地域課題から区域の共通課題を1層（区社会福祉協議会）、2層（ケアプラザ）で連携し、目標・取組事項を設定し取組んで行きます。協議体でも議題として提案し、解決に向けて検討していきます。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

- ・地域活動及びケアプラザ貸館団体情報誌「参加しませんか」を更新し、閲覧のほか配布できるよう整備し、最新のインフォーマルサービスを関係機関と共有化を図ります。
- ・ひぎり地区、永野地区の第3期地福計画の推進が住民主体で進められるように、支援チームと協働で支援をします。その成果が地域住民に分かりやすく伝えられるよう広報誌などの作成を検討します。
- ・丸山台エリアのネットワークを強固にするため
  - ・丸山台自治会シルバークラブ、サロンと連携
  - ・丸山台の民生委員児童委員を対象とした地域ケア会議を開催
  - ・丸山台商店会との連携、認知症サポーター講座の開催をすすめます。
- ・地域の自治会夏祭りにブース出展し、クイズ等のイベントにより子供から子育て世代・高齢者の幅広い世代へ包括周知を含めた、福祉の啓蒙活動を行ないます。
- ・出前講座を通じ小・中学校や若い世代との交流を図ります。学生が地域活動に参加できるよう地域交流部門と連携し、夏休みに「ふらり～カフェ」「宿題ルーム」等の活動に繋がるようアプローチします。
- ・地区社会福祉協議会理事を引き続き受け、地域会議に参加し情報収集とニーズの把握に努めます。
- ・地域の関係機関と定例会等を通じ情報収集とニーズの把握に努め、ネットワークを強固にします。
  - ・民生委員児童委員協議会定例会（ひぎり・永野）
  - ・保健活動推進員定例会（ひぎり・永野）
  - ・ひぎり地区福祉講座検討会
  - ・第3期地福計画推進会議
  - ・シルバークラブ、サロン等
- ・地域の見守り支援を構築します。
- ・地域づくりの効果が、地域の方の理解や意欲に現れているか確認します。

#### ②実態把握

- ・ひぎり地区福祉保健計画活性部会で行われたアンケートを、住民と共に地域ニーズを分析します。
- ・ケアプラザで開催する各種事業のアンケート結果や声を地域住民にフィードバックすることで住民への理解を深め、さらに事業展開を図り圏域のニーズを図りPDCAサイクルを作ります。
- ・各種統計資料から圏域の情報を収集するほか、日頃の相談業務を統計システムで整理し個別ニーズ、圏域のニーズを数値化し把握します。
- ・地域活動情報誌、ケアプラザ貸館団体情報誌「参加しませんか」を更新し、インフォーマルサービス等が地域住民やケアマネジャー等、必要に応じサロンの内容や参加の方法等を含め、ニーズに応じた情報提供を行います。

### ③総合相談支援

- ・立ちあげた事業「ふらり～カフェ」は、内容・ボランティア発掘など見直しを図り持続可能な運営を目指します。「認知症家族の集い」も先輩介護者の協力を得て、会の進めかたを検討します。
- ・相談内容から新たな事業や講座を開催します。
- ・丸山台地区は、自治会館の建て直しに伴い、活動できなくなった団体の受け入れを積極的に行い、身近な包括となるようPRします。
- ・孤立化しやすい男性高齢者対策として、昨年度立ち上がった男性の「極みの会」の継続支援と、今年度の開催を検討します。更に、個別の声掛けにより開催している事業への参加を促し、ボランティア活動を通しての地域参加等、目的や役割を持って活動できる働きかけを行います。
- ・初回相談は、相談票を作成し、包括・コーディネーターで回覧し地域課題を把握します。相談内容の分析から、状況に応じた事業の立ち上げを検討します。包括内では口頭でも引継ぎ、必要な支援の方向性について検討し、包括3職種と生活支援コーディネーターで連携し支援します。必要に応じ訪問し、専門機関やフォーマル・インフォーマルの情報提供を行います。
- ・初回相談者等、不安や混乱が見られる場合は安心して相談して頂ける様、平易な言葉づかいで丁寧な伝え方を心掛けます。また相談者の真のニーズをアセスメントし、エンパワメントが引き出されるよう支援します。
- ・定期訪問は対象者の個別の状況を勘案し世帯状況や心身状況を踏まえ、計画的かつ継続的に支援します。
- ・サービスに繋がらず孤立化等で見守りが長期に及んでいるケースは、カンファレンスなどを通じた定期的な関わりの見直しや、アプローチについて検討します。
- ・早急な対応を要する相談で介護認定がされていないケースは、区役所高齢・障害支援課と連携しながら先行でサービス調整等を行い、担当ケアマネジャーにスムーズに繋がるよう支援します。
- ・精神疾患からの混乱や認知症の方の相談対応は、高齢障害支援課、はいかい認知症高齢者等SOSネットワーク、警察、消防等とも連携を図り、相談者本人・家族はもとより近隣者の不安と安全を守れるよう連絡調整します。
- ・日頃の相談を整理・分析し、地域課題に繋がる相談内容については、関係機関、地域キーパーソン等を交えて、地域ケア会議等を開催します。
- ・要介護の親と未就労の子の世帯への支援は、世帯状況や心身状況を踏まえ、関係機関と連携し計画的かつ継続的に支援します。

## (2) 権利擁護業務

### ①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・近隣の金融機関と顔の見える関係性を形成し、必要時に連携します。
- ・エリアの駐在所と関係性を強化し、消費者被害の防止を図ります。
- ・成年後見制度、消費者被害の防止について講座「わたしの人生計画」をシリーズで開催し、地域住民等に普及啓発を図ります。
- ・老人会、各種サロンなどに出前講座で普及啓発や注意喚起を行います。また、専門職や関係機関と連携しプログラムを工夫すると共に、地域住民に關係機関を周知します。
- ・個別支援では、警察、消費生活総合センター、区役所、弁護士、行政書士等の関係機関と連携し、消費者被害の対応・抑止、成年後見制度の申立支援等を行います。

## ②高齢者虐待への対応

- ・要介護の親と未就労の子世帯へのアプローチは、関係機関との連携を行うと共に、子への支援・傾聴を丁寧に行い、包括が中立の立場であることを理解され解決の糸口を見出します。
- ・介護保険事業者と民生児童委員の懇談会を、高齢者虐待をテーマに開催します。グループワークを通して虐待リスクや対応を学び、地域住民の通報義務や関係機関の役割を周知します。
- ・虐待や虐待の疑いの相談・通報は民生委員等のネットワークを活用した情報収集や訪問を行い、区高齢障害支援課と連携して速やかに対応します。
- ・認知症家族のつどいを毎月開催し、ピアカウンセリングにより虐待の抑止を図ります。先輩ボランティア介護者の投入によりさらに内容の充実を図ります。
- ・ふらり～カフェが、孤立しやすい認知症家族の居場所となるよう継続します。
- ・区内社会福祉分科会で引き続き区内ケアマネ連絡会他、区内介護事業所対象に虐待防止研修を行います。
- ・個別ケースは、ケアマネジャー、関係機関と連携し被虐待者と介護者を役割分担し支援します。

## ③認知症

- ・キャラバンメイトの新たな発掘（極みの会等）を図ります。
- ・認知症サポーター養成講座は、キャラバンメイトのみならず、地域の支援者と協働し実施します。
- ・ふらり～カフェは、内容・ボランティア発掘などを見直し、持続可能な運営を目指します。
- ・認知症家族のつどいは先輩介護者の協力を得て会の進め方を検討します。
- ・スリーA（認知症予防レク）を活動主体としている「元気づくりステーションゆらり」の支援者向けの研修へ、地域の活動グループからの受講を受け入れ、認知症や認知症予防についての理解や取り組みが拡大されるよう働きかけます。
- ・認知症予防講座を開催します。
- ・はいかい認知症高齢者 SOS ネットワーク・ひまわりホルダーの周知と活用をします。
- ・若年性認知症のつどいの協働開催をします。

## （3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ケアプラザ等で行われる地域サロン、スリーA（認知症予防レク）にケアマネジャーと担当利用者に参加して頂く、そのことにより体験したインフォーマルサービスと地域力を自立支援への取り組みに活かして頂く様に促して行きます。
- ・ケアマネジャーと民生児童委員との懇談会を開催します。

### ②医療・介護の連携推進支援

- ・医療と福祉の連携推進支援事業「医福ネット港南」を行います。世話人は医師・薬剤師・医療相談員・訪問看護師・理学療法士・作業療法士等と港南区役所、ケアマネジャー・福祉職等で作られています。参加者同士の繋がりや学びの場として提供して行きます。（年3回予定）
- ・「港南区医療機関情報シート」をケアマネジメント新任研修で用いて活用方法を伝え、訪問診療を行うクリニックの情報を提供します。
- ・在宅医療相談室とケアマネジャーの連携推進を図ります。



- ・各地域ケアプラザ協力医の情報提供を行い、ケアマネジャーとの橋渡しを行います。
- ・日限山地域ケアプラザ協力医と近隣ケアマネジャーと懇談の場を設け連携作りの支援を行います。

### ③ケアマネジャー支援

- ・担当地域内の事業所訪問を定期的に行い、その場でケアマネジャーに声をかけ関係の向上と抱えている事例相談等に対応し、内容によっては区役所高齢障害支援課地区担当者とケースカンファレンスに繋げていきます。
- ・ケアマネジメント新任研修会前期では、施設見学会を行います。
- ・ケアマネジメント新任研修会後期では、法令や民生委員・地域との関わり、インテーク面接技法、アセスメント思考プロセスからの自立支援、区社会福祉協議会の役割、事例検討会、在宅医療相談室の役割、ロールプレイによるサービス担当者会議の開き方等を行います。
- ・ケアマネジメント新任研修会を通じて、新人ケアマネ学習会の立ち上げと、会の維持向上を高齢障害支援課と協働で行います。
- ・区内には5つのケアマネ学習会があり、輪番で学習会のアドバイザーとして運営維持に関わって行きます。
- ・「港南区ケアマネジメント講座」の実施。
- ・「港南区ケアマネ連絡会」の支援。
- ・「ケアマネサロン」の運営。
- ・「民生児童委員とケアマネジャー懇談会」を開催し、ケアマネジャーに地域力活用の視点と大切さを伝えていきます。

## (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・地域福祉保健計画から実行へと地域づくりの地域支援チーム会議を行い、多職種協働による支援を行っていきます。
- ・地域包括支援センター内でのカンファレンスや、高齢障害支援課とのカンファレンスを通じて個別ケースの地域ケア会議を開催します。  
個別ケースについては、介護予防の視点からの課題についても検討を行います。
- ・個別の地域ケア会議から見えてきた地域課題について、包括レベルの地域ケア会議へ繋げ、生活支援コーディネーターが抽出した課題についても確認を行いながら、連携して新たな資源開発などに向けての取り組みを推進します。

## (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・対象者の生活や、個々の目的に応じた目標設定を行うため、本人や家族等からの聞き取りを十分に行い、生活状況・心身状態を含め総合的なアセスメントを実施します。
- ・委託しているケースについては、ケアマネジャーと密に連携を取ると共に、支援困難ケースについては、必要に応じて高齢障害支援課や関係機関と様々な視点で検討し支援を行います。
- ・支援計画へ地域のインフォーマルサービスを組み込めるよう、地域資源の把握とサロンマップ・活動情報誌をケアマネジャーへ配布し情報提供を行います。
- ・区内の包括が連携して、介護予防支援従事者研修を実施します。

- ・ 目的志向型の介護予防ケアマネジメントについて、リハビリ専門職等の参加した個別ケースの地域ケア会議の開催を検討します。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

- ・ 元気づくりステーション「アクティブシニア」については、自主的な運営ができるよう、高齢障害支援課と連携し、定期的なグループのアセスメントや評価を通じて、必要に応じ運営に関する具体的な提案など継続的な支援を行います。
- ・ 元気づくりステーション「ゆらり」については、月に2回の活動をグループメンバーが主体的に運営していけるための働きかけを行います。
- ・ 元気づくりステーション「ルンルン体操」については、メンバー全員が役割を分担することで継続的かつ安定して運営していけるよう支援します。
- ・ 元気づくりステーションへ参加することによる個人の介護予防から、地域への介護予防についての発信や、ボランティア活動を通じた地域貢献を支援します。
- ・ 担当地域において元気づくりステーション交流会の開催し、相互の活動の理解や、運営方法の工夫等の情報交換を行い、また、介護予防の新たな視点を得ることでそれぞれのグループが発展的かつ継続的に活動していけるよう支援します。
- ・ 高齢障害支援課と共に更に地区診断を進め、地域の高齢者の状況やニーズの把握し、介護予防に関する様々な情報提供や活動への参加の声掛け、必要に応じ個別の継続的な支援を行います。
- ・ 一般企業・ヘルスマイト・保健活動推進員等、様々な機関や地域で活動している方々と共に、地域アセスメント等から必要度が高いテーマや、地域の特に男性が興味・関心が高いテーマに関する講座を実施します。
- ・ 介護予防が地域で更に理解され実践されるよう、講座を身近な場所で開催したり周知活動を積極的に行い、生活支援コーディネーターと共に新たな参加者を増やせるよう工夫や活動を行います。
- ・ 自治会毎の老人会や地域の会へ出向き、運動・栄養・口腔ケア・認知症予防等、様々な内容で介護予防を普及啓発する講座を行います。
- ・ 広報誌を活用して、心身の介護予防に関する情報提供、包括で実施する介護予防事業の周知を行います。
- ・ 地域で活動する介護予防に資する活動の把握や活動の継続への支援など、グループへの支援を継続して実施します。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- ・ 地域ケアプラザ指定管理者の責務として、快適かつ安全に利用頂ける様配慮し、施設及び設備についても日常の管理・点検を行います。

#### イ 効率的な運営への取組について

- ・電気・ガス・水道等無駄のない運営を心掛け、冷房・暖房の温度設定基準を設け、施設運営を心掛けます。
- ・貸館空き状況リストを定期的に更新し活用を促します。

#### ウ 苦情受付体制について

- ・苦情に対して迅速・誠実な対応を行うよう苦情受付→苦情対応相談員→苦情対応担当者→苦情解決責任者を設けています。
- 苦情となる前段階に誤解・行違いの改善を図り、相談窓口としての役割を担います。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・地域の方々と一体となり防犯・防災の体制を持つ関係作りを行います。
- ・防犯として：ひざり地区の夜間パトロール（地元町内会、歩こうクラブ、シルバークラブ、地区社会福祉協議会等）の出発・集合拠点としてケアプラザを利用して頂き、防犯体制が日常的に行えるよう協力を頂いています。
- ・防災に関して：地域拠点避難訓練に特別避難場所として参加し自衛消防隊での訓練を行います。

#### オ 事故防止への取組について

- ・予測可能な事故については未然防止策を講じ回避する様にします。また、施設利用者へも転倒転落等の事故防止への案内と周知を継続します。
- ・調理室の刃物は事務所で管理し、貸館利用団体が使用する際に安全なケースに入れて貸出します。貸出時、返却時に本数の確認をします。
- ・調理室のガスの元栓のスイッチ操作はケアプラザ職員が行います。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・平素から厳格に適正な個人情報の管理と取扱を徹底します。具体的に
  - ・FAX 誤送信防止に電話帳登録と複数名確認
  - ・郵送物の誤発送防止に複数名確認
  - ・パソコンの施錠付管理及び盗難防止ロック
  - ・個人情報に関する書類は施錠できる書架に収納し退社
  - ・USB等に個人情報データ入力を禁止
  - ・データベースアクセス時の個別認識パスワード設定
  - ・個人情報無断持ち出し禁止
  - ・プライバシーポリシーの作成と周知徹底
  - ・個人情報取扱いマニュアルの徹底

#### キ 情報公開への取組について

- ・ 公共性の高い施設として各種法令を遵守し、地域に積極的に情報を公開します。
  - ・ 運営状況等の閲覧
  - ・ 神奈川県介護サービス情報公表センターへの掲載
  - ・ 第三者評価の受審
  - ・ 掲示板や機関誌を用いた運営状況の報告
  - ・ ホームページの活用

#### ク 人権啓発への取組について

- ・ 各種外部研修等を通じて人権意識を高い水準で維持すると共に、市区行政の方針が地域住民に広く啓発できる様にします。  
特に近隣中学校から人権学習として高齢者問題（認知症）について地域と専門職種が関係を築き地域で見守ることの大切さを伝えるため講義と発表に毎年取り組んでいます。今年度も学校との協働での取り組みを行います。

#### ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 事業系ごみと資源ごみの分け方を基本に、ごみの分別を行います。
- ・ 環境へ負荷を減らす取り組みとして、移動時は公共交通機関、自転車を主に使用します。
- ・ 館内の冷暖房温度を、区の推奨温度に設定します。
- ・ 館内の照明は、省エネ型蛍光灯と LED を使用しています。夜間は安全に配慮した上で廊下等の照明を間引き点灯します。
- ・ 町内一斉清掃にケアプラザ職員も参加しゴミ拾い、草取り等取り組みを継続します。
- ・ 印刷物は可能な限り裏紙を使用します。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

保健師・主任ケアマネジャー・社会福祉士 各1名

#### 《目標》

対象者と共に生活を見直しながら目指すことができる生活について話し合い、それに向けての課題を抽出していきます。また、対象者が主体的かつ意欲的に取り組める目標を設定し、適切な時期にモニタリングや評価を実施致します。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 通常のサービス地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要となります。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

関係機関と密に連携を図りながら、対象者に応じた適切なプランを作成致します。インフォーマルサービスや地域資源を十分活用していただけるよう、情報提供及びプランへの位置づけ、活動のきっかけづくりの支援など、積極的な取り組みを行います。

#### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
40	40	40	35	35	35
10月	11月	12月	1月	2月	3月
30	30	30	25	25	25

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1人  
ケアマネジャー 3人

《目標》

介護保険法令及び関係法令の遵守を念頭に公正中立なサービスを提供し、常にご利用者様とご家族の目線に合わせて、適宜にニーズに応じた保健・医療・福祉等の社会資源をマネジメントいたします。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要となります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域福祉の拠点であるケアプラザの居宅支援事業所として、充実した地域ネットワークの構築にも尽力し、関係行政機関、地域包括支援センターとの連携も積極的に展開し良質な居宅サービス計画を作成いたします。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
115	118	121	125	128	131
10月	11月	12月	1月	2月	3月
134	140	140	140	140	140

平成29年度 「日限山地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,463,280	0	18,463,280		18,463,280	横浜市より（施設使用料相当額を除く）
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	0		0		0	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	0		0		0	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	18,463,280	0	18,463,280	0	18,463,280	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,466,000	0	10,466,000	0	10,466,000	
本俸	4,833,567		4,833,567	0	4,833,567	
社会保険料	786,835		786,835	0	786,835	
手当計	2,563,970		2,563,970	0	2,563,970	
健康診断費	32,458		32,458	0	32,458	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	84,667		84,667	0	84,667	
その他	2,164,503		2,164,503	0	2,164,503	
事務費	2,364,000	0	2,364,000	0	2,364,000	
旅費	40,000		40,000	0	40,000	
消耗品費	950,000		950,000	0	950,000	
会議賄い費	42,000		42,000	0	42,000	
印刷製本費	25,000		25,000	0	25,000	
通信費	380,000		380,000	0	380,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	260,000		260,000	0	260,000	
図書購入費	10,000		10,000	0	10,000	
施設賠償責任保険	32,450		32,450	0	32,450	
職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	2,000		2,000	0	2,000	
リース料	120,000		120,000	0	120,000	
手数料	6,000		6,000	0	6,000	
地域協力費	15,000		15,000	0	15,000	
その他	471,550		471,550	0	471,550	
事業費	922,000	0	922,000	0	922,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	880,000		880,000	0	880,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	3,874,000	0	3,874,000	0	3,874,000	
建築物・建築設備点検			0	0	0	指定額
光熱水費	1,280,000	0	1,280,000	0	1,280,000	
電気料金	1,042,803		1,042,803		1,042,803	
ガス料金	61,277		61,277		61,277	
水道料金	175,920		175,920		175,920	
清掃費	291,970		291,970	0	291,970	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	121,875		121,875	0	121,875	
設備保全費	1,180,672	0	1,180,672	0	1,180,672	
空調衛生設備保守	531,549		531,549	0	531,549	
消防設備保守	134,467		134,467	0	134,467	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	514,656		514,656	0	514,656	
共益費			0	0	0	
その他	525,483		525,483	0	525,483	
公租公課	837,280	0	837,280	0	837,280	
事業所税			0		0	
消費税	837,280		837,280	0	837,280	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	18,463,280	0	18,463,280	0	18,463,280	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「日限山地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	23,308,000		23,308,000		23,308,000	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	介護保険収入等充当分
自主事業 (指定管理料充当自主事業) 収入			0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 ( )			0		0	
その他 ( )			0		0	
<b>収入合計</b>	<b>29,248,000</b>	<b>0</b>	<b>29,248,000</b>	<b>0</b>	<b>29,248,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,917,000	0	25,917,000	0	25,917,000	
本俸	14,713,179		14,713,179		14,713,179	
社会保険料	3,462,668		3,462,668		3,462,668	
手当計	7,159,321		7,159,321		7,159,321	
健康診断費	72,635		72,635		72,635	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	509,197		509,197		509,197	
その他	0		0		0	
事務費	1,031,000	0	1,031,000	0	1,031,000	
旅費	60,000		60,000		60,000	
消耗品費	400,000		400,000		400,000	
会議賄い費	0		0		0	
印刷製本費	48,500		48,500		48,500	
通信費	400,000		400,000		400,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	11,500		11,500		11,500	
職員等研修費	2,000		2,000		2,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	89,000		89,000		89,000	
手数料	10,000		10,000		10,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	0		0		0	
事業費	1,270,000	0	1,270,000	0	1,270,000	
協力医	630,000		630,000	0	630,000	指定額
介護予防事業	151,000		151,000	0	151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000	0	309,000	
自主事業 (指定管理料充当自主事業) 費	180,000		180,000	0	180,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,030,000	0	1,030,000	0	1,030,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	指定額
光熱水費	340,000	0	340,000	0	340,000	
電気料金	310,000		310,000		310,000	
ガス料金	3,000		3,000		3,000	
水道料金	27,000		27,000		27,000	
清掃費	80,000		80,000	0	80,000	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	
機械警備費	25,000		25,000	0	25,000	
設備保全費	310,000	0	310,000	0	310,000	
空調衛生設備保守	130,000		130,000	0	130,000	
消防設備保守	30,000		30,000	0	30,000	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	150,000		150,000	0	150,000	
共益費			0	0	0	
その他	149,000		149,000	0	149,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他 ( )			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>29,248,000</b>	<b>0</b>	<b>29,248,000</b>	<b>0</b>	<b>29,248,000</b>	
差引	0	0	0	0	0	



## 平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
認知症・家族のつどい	認知症介護家族	8,000円	8,000円	なし	なし	8,000円	なし
	80 無料						
サロン出前講座	高齢者	2,000円	なし	なし	なし	2,000円	なし
	無料						
ケアプラtheフェスタin日限山	地域	100,000円	100,000円	なし	3,000円	97,000円	なし
赤ちゃん教室	0歳児親子	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	無料						
子育てひろば	未就園児親子	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	無料						
廊下ギャラリー	地域	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	無料						
カフェドリーム	地域	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	無料						
ドルフィン	個別支援級	82,000円	70,000円	12,000円	35,000円	45,000円	2,000円
	120名 100円						
宿題ルーム	小中学生	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	無料						
極みヨガ	男性	48,000円	48,000円	なし	45,000円	なし	3,000円
	20名 2,300円						
ぐんぐんひろば	乳幼児親子	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	15組 無料						
セカンドライフ大学校	60歳以上男性	20,000円	20,000円	なし	なし	20,000円	なし
	30名						

事業ごとに別紙に記載してください。

## 平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
わたしの「人生」計画	地域	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	120名						
	無料						
あい碁で将！	地域	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	無料						
ふらり～カフェ	地域	5,5000円	25,000円	30,000円	なし	55,000円	なし
	300名						
	100円(大人ののみ)						
認知症予防講座	地域	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	無料						
若年性認知症港南区の集い みなとみな	若年性認知症者と家族	28000円	18000円	10000円	12000円	16000円	なし
	50名						
	200円						
PapaCoスクール	父親	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	無料						
夏休み工作	小学生	23,000円	10,000円	13,000円	6,000円	16,000円	1,000円
	20名						
	500円～800円						
クリスマス会	地域	10,000円	なし	なし	なし	10,000円	なし
	無料						
よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会	地域65歳以上	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	無料						
餅つき大会	地域	なし	なし	なし	なし	100,000円	なし
	100,000円						
	無料						
貸館利用団体交流会		なし	なし	なし	なし	なし	なし
	無料						
女性のよるヨガ	地域	120,000円	74,000円	46,000円	65,000円	34,000円	21,000円
	20名						
	2,300円						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業計画書

## 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症・家族のつどい	認知症の家族を介護している方の孤立化防止、虐待防止	毎月第1金：全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン出前講座	介護予防、認知症予防、地域づくり支援	毎月2回・全23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザtheフェスタin日限山	地域力による発表・食・体験によるお祭りを開催。地域が一体となる場の提供とケアプラザをより身近に感じてもらおう。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
赤ちゃん教室	初めての赤ちゃん(0歳児)の保護者向け相談交流会等	毎月水曜・1回：全10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てひろば	未就園児対象。親子の交流サロン	毎週金曜・1回：全47回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
廊下ギャラリー	地域に開かれた発表の場の提供。ケアプラザのPR	随時

# 平成29年度 自主事業計画書

## 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カフェドリーム	地域の憩いの場	毎月第3木曜 ・1回：全8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドルフィン	日限山中学校区の個別支援級に通う子供たちの夏休み余暇支援	夏休み開催 ・全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
宿題ルーム	児童の放課後の居場所づくり	週3回：全121回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
女性のよるヨガ	夜間帯の貸館利用促進。日中不在の女性ターゲットとしたヨガ。	月2階・全8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぐんぐんひろば	地域で学べる場の提供	月1回：全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
セカンドライフ 大学校	定年後の男性が地域デビューをするための支援	全7回

# 平成29年度 自主事業計画書

## 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あい碁で将！	高齢者の居場所作り が多く、既存のグループに途中加入するのをためらう方向 けに開催	要望 全20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふらり～カフェ	認知症高齢者、障がい者、子育て世代の親子など地域の方 が誰もが気軽に集えるカフェの開催により多世代交流・地 域の顔見知りを作ることを目指す。	毎月第1金 ・1回：全8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症予防講座	認知症予防の普及啓発	随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年性認知症港 南区の集いみな とみな	若年性認知症の家族と当事者の支援	3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス会	地域の子ども達の余暇活動	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中森内科クリ ニック「便秘は 治る！？」講座	地域の食生活での健康知識の向上を目指す。	1回

# 平成29年度 自主事業計画書

## 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
餅つき大会	日本の伝統行事を体験することで子どもから大人までの繋がりをもつ。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館利用団体交流会	貸館登録団体同士の繋がりができ、お互いの活動に興味関心をもてるように目指す。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
PapaCoスクール	父親同士の仲間作り、育児参加へのきっかけ作り	3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	ボランティア活動推進のため	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わたしの「人生」計画	権利擁護	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザtheフェスタin日限山	地域力による発表・食・体験によるお祭りを開催。地域が一体となる場の提供とケアプラザをより身近に感じてもらおう。	1回

# 平成29年度 自主事業計画書

## 横浜市日限山地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症理解と援助	認知症理解講座	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み工作	児童の夏休み余暇活動	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
極みヨガ	シニア男性ターゲットとしたヨガ講座。地域の仲間づくり。	6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数